

# タンポポ



広島市立五日市南中学校  
第1学年 学年通信 No.5  
発行日 平成24年6月 4日

## 1年生への学習のアドバイス

教科名	家庭学習の仕方	試験前の学習の仕方
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字→課題のページ数は必ず書く。自主的にもう1ページ書けたらよい。</li> <li>・本文→繰り返し読んでおくと良い。</li> <li>・ワーク→授業で進んだ範囲は、自主的に解いていこう。予習が出来たらなお良い。</li> <li>・ノート→下のエリアに自主学をやっていこう。</li> <li>・読書等で心を動かし、感性を磨こう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・範囲の文章をどれだけ読んでいるかが重要。次のことをしながら何度も読んでおこう。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>①ワークをもう一度する。</li> <li>②プリントの内容や板書したところをもう一度移して書く。→(ノートの下)</li> <li>③詩等は本文を視写することも有効。漢字対策等その他詳しいことは授業で説明します。</li> </ol>
社会	<ol style="list-style-type: none"> <li>①教科書を何度も読み直す。少なくとも2~3回は読み直してみよう。</li> <li>②ノートを見かえそう。また、授業で見た図や写真、グラフ、プリントも合わせてみておこう。</li> <li>③重要な語句、地名などを覚えよう。覚え方は、声を出しながら、紙に書きながら覚える。(なんども書いてみる)</li> <li>④ワークの問題や授業でやったプリントをやる。最初は、自分の力でやる。その後、わからないところは、教科書やノートで調べ</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①教科書・ノートを何度も読み直し、図や写真、グラフなどもよく見ておく。少なくとも2~3回は読み直してみよう。</li> <li>②授業でやったプリントやワークの問題を何度も繰り返してやる。→教科書やノートを見なくてもできるようになるまで何度もやる。</li> <li>②重要な語句、地名などは、何度も紙に書き覚える。</li> <li>③地図で場所をチェックしておく。</li> </ol>

	<p>てやってみる。</p> <p>間違ったところやわからなかったところは、③のように紙に書いて覚えよう。</p> <p>⑤宿題は必ず、その日にやって、期日に間に合うようにする。</p>	
数学	<p>①教科書、ノートを見て、授業でどんなことを学習したかを見直そう。振り返りも書いておこう。</p> <p>②教科書の大事なところにアンダーラインを引き、ノートに書き加えよう。キーワードも書いておこう。</p> <p>③宿題は授業中メモをし、その日のうちに終わらすようにしよう。</p> <p>④パワーアップノートに習ったことを復習しよう。</p> <p>⑤レッスンや数学問題ノートなどで復習しよう。</p> <p>テストが返却されたら、間違え直しを丁寧に行おう。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①範囲をみて、計画を立てよう。</li> <li>②教科書の範囲のところの大事な用語を正しく書くことができるようにしよう。</li> <li>③ノートで習ったことを復習しよう。</li> <li>④教科書の例を見て、解けなかった問いをもう一度解き、ノートで答え合わせをしよう。</li> <li>⑤数学問題ノートを解いて、わからないところは先生に聞いてできるようにしておこう。</li> <li>⑥レッスンを解いて、間違ったところは直しをしておこう。パワーアップノートに、これまでできなかった問題や小テストでできなかった問題をもう一度解こう。</li> </ol>
理科	<ol style="list-style-type: none"> <li>①ノートをしっかり見直す。</li> <li>②ワーク(理科の学習)をやって、できないところの解説を読む。</li> <li>③単元小テストは、学習のてびきを活用して復習する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①ワークや単元テストをもう一度やってみる。</li> <li>②教科書で太字の用語は、漢字で書け、説明できるようになる。</li> <li>③実験観察の仕方と、その理由が簡単に説明できるようになる。</li> </ol>

<p>英 語</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まず声を出して教科書の本文や単語などをしっかり練習しましょう。</li> <li>・次にそれがすべて英語で書けるようにワンページノートを利用するなどしてたくさん練習し、おぼえましょう。</li> <li>・ワークを利用して問題を何度もやって確実に身につけましょう。</li> <li>・コツコツと努力することを大切にしましょう。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テストは書くことが中心となるのでとにかく見ておぼえる→読んでおぼえる→書いておぼえるという流れを大切にして試験範囲のことはどこでもどんなことでもおぼえていて書けるという状態にしましょう。</li> <li>・ローマ字や文の決まりを確実におぼえましょう。</li> <li>・ワークや授業で使ったプリント、小テストなども繰り返しやってみてミスのないような状態にしましょう。</li> <li>・英語は「習うより慣れろ」です。ファイトです。</li> </ul>
------------	---	---

※計画的に勉強することが大切です。毎日家庭学習の時間をきっちりととって勉強を進めましょう。